

平成19年11月12日

各 位

東京都渋谷区神宮前二丁目 31 番 12 号
株式会社 ユナイテッドアローズ
代表取締役社長 岩城 哲哉
(コード番号: 7606 東証第一部)

問合わせ先

経営開発本部 丹 智 司
I R 部 部長
電 話 番 号 03-5785-6637

ストアブランドの再編による主力業態の強化に関するお知らせ

当社は、現在展開する4つのストアブランドを再編し、経営資源を成長事業に集中することで主力業態である「ユナイテッドアローズ」、「グリーンレーベル リラクシング」の強化を図ることを決定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

今回再編の対象となるのは、スモール ビジネス ユニット (S.B.U.) の「ダージリン・デイズ」、「ディズニー・ラブド・バイ・ネイチャー・フォー・ユナイテッドアローズ」、及びグリーンレーベル リラクシング 業態 (以下、GLR) 内の事業である、「オドナタ グリーンレーベルリラクシング」、「ファサードグリーン グリーンレーベルリラクシング」の4ストアブランドです。これら事業への投資、及び人的資源・ノウハウを既存業態内に取り込むことにより、主力業態を強化、今後の安定成長を図ります。

DARJEELING DAYS (ダージリン・デイズ) -----店舗数: 4店舗

2005年3月から40代中心の男性をターゲットに展開してきた「ダージリン・デイズ」(以下、DD)は、単体事業としての役割を終了し、人的資源をユナイテッドアローズ業態 (以下、「UA」) へ移行します。DDが40代アップマーケットを対象に培ったノウハウを取り込むことにより、UA業態を大人に向けた上質感のあるストアとして拡大させる方針です。DD各店舗は来年1月~3月を目処に順次クローズし、今後DDはUA業態内の大人向けメンズレーベルとして展開する予定です。

Disney Loved By Nature for UNITED ARROWS (ディズニー・ラブド・バイ・ネイチャー・フォー・ユナイテッドアローズ) -----店舗数: 2店舗

2007年3月から、「ディズニーキャラクター」くまのプーさんと森の仲間たち」をモチーフにした子供服事業を展開してきた「ディズニー・ラブド・バイ・ネイチャー・フォー・ユナイテッドアローズ」(以下、「DLN」)は、自由が丘店の営業を終了し、今後の路面店展開を休止する予定です。DLNについては、GLR事業内で高価格子供服ブランドとしての継続を検討しており、GLR店舗で展開する予定です。DLNで得られた高価格子供服マーケットのノウハウを既存GLR事業に集中させることで、同業態の子供服部門を強化します。

ODONATA green label relaxing (オドナタ グリーンレーベルリラクシング) -----店舗数: 1店舗

2006年3月より、GLR業態内の事業としてスーツ・重衣料中心のメンズ専門店を展開してきた「オドナタ グリーンレーベルリラクシング」(以下、「オドナタ」)は、単独店舗としての運営を終了し、今後の単独出店を停止する予定です。現在、運営している1店舗については今下半期～来上半期を目処にクローズし、GLR事業内のオリジナルレーベルとしても一時休止します。オドナタに分散していたメンズドレスの経営資源をGLR事業に吸収し、GLR業態の強化を図ります。

FACADE GREEN green label relaxing (ファサードグリーン グリーンレーベルリラクシング) -----店舗数: 4店舗

2006年3月より、GLR業態内の事業として30歳前後の女性(ヤングウィメンズ)へ向けたウィメンズ専門店として運営していた「ファサードグリーン グリーンレーベルリラクシング」(以下、「FG」)は、単独店舗としての展開を終了し、今後の単独出店を停止する予定です。現在展開している4店舗は今下半期～来上半期を目処にクローズし、GLR事業内のオリジナルレーベルとしても一時休止します。今後、ヤングウィメンズマーケットへ訴求していくモード・セクシー系ブランドは、現在好調に推移している「Jewel Changes (ジュエルチェンジズ)」へ集中させる予定です。現在FG運営に関わる経営資源はGLR事業に吸収し、GLRオリジナルラインの強化を図ります。

なお、今回のストアブランド再構築により、ユナイテッドアローズが展開する事業は以下の通りです。

・主管業態

ユナイテッドアローズ
ビューティ&ユース ユナイテッドアローズ
ユナイテッドアローズ グリーンレーベル リラクシング
クロムハーツ

・スモール ビジネス ユニット

アナザーエディション
ジュエルチェンジズ
オデット エ オディール ユナイテッドアローズ
ドゥロワー
サウンズ グッド

・UAラボ

時しらず
リカー、ウーマン&ティアーズ

ユナイテッドアローズでは基本事業戦略の一つである多事業軸戦略に基づき、今後もマクロ環境・競合環境を考慮しつつ、収益性・成長性・イメージなど多角的な精査を定期的に行うことで事業ポートフォリオを整備し、優先順位を明確にした資本投下を実施していきます。経済合理性と感性の双方の精査を通じた多事業軸化を推進することで、『ブランドロイヤルティの維持拡大』と『企業の成長拡大』の両立を目指します。

以上